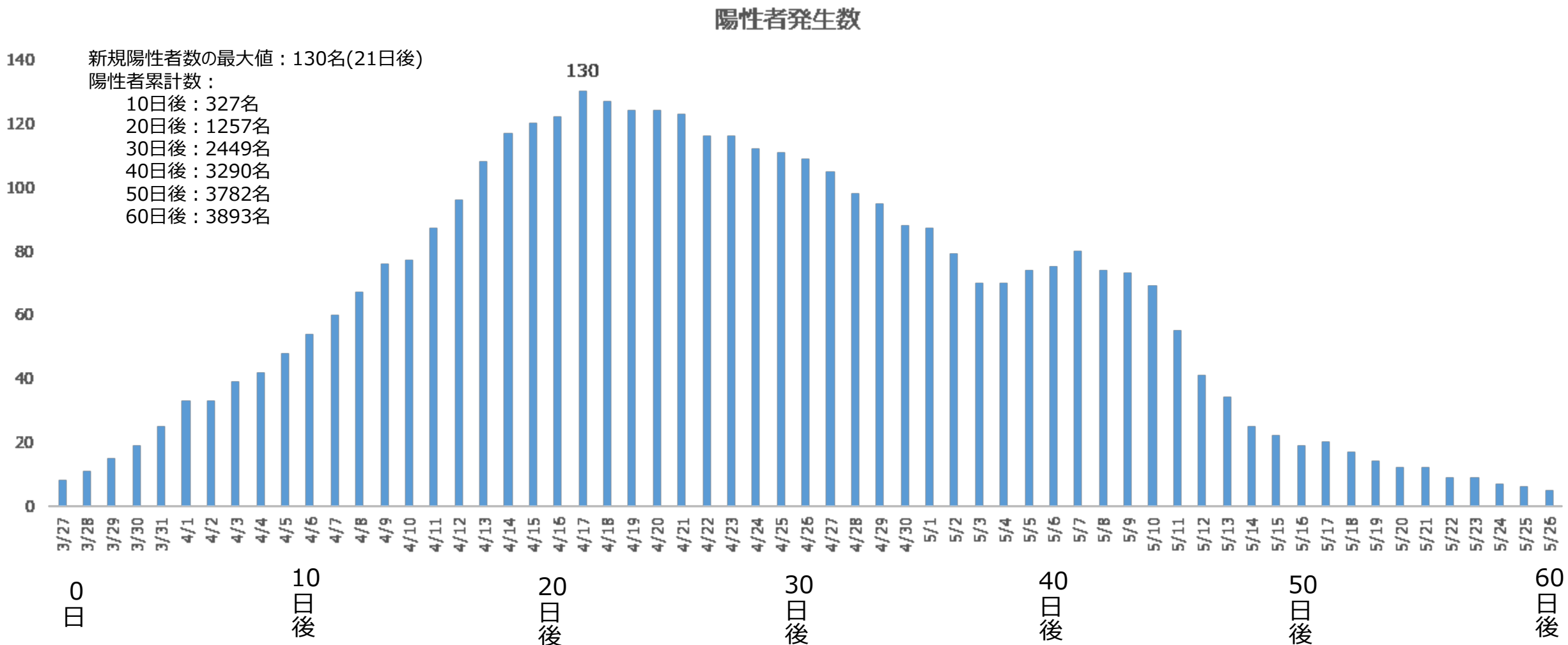


# 今後の患者発生予測と それに伴う必要病床数について

令和 2 年 6 月 29 日  
健康医療部

# 今後の患者発生予測 東京都並みの感染拡大を想定し試算

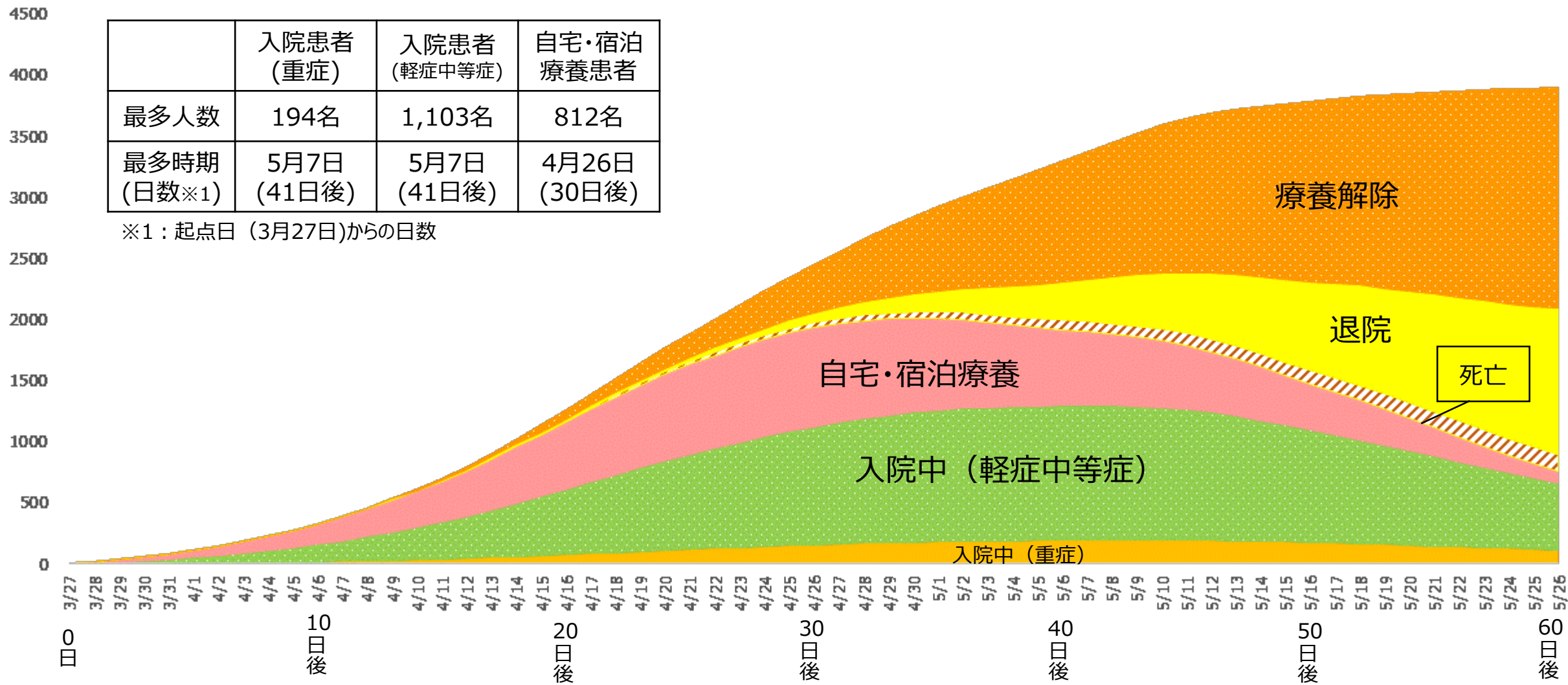
大阪府の3/27の数値（新規陽性者の7日間移動平均）を起点として、東京都の3/25の前日増加比（新規陽性者の7日間移動平均）を掛け合わせて試算



# 必要病床数の推計 陽性者の療養状況の推移

入院患者の試算は大阪府の発生状況(3月27日を起点)に東京都の拡大状況をかけ合わせて試算

陽性者の療養状況の推移



# 感染拡大第2波に備えた必要病床数推計にかかる論点

## (1) 第2波における感染拡大ピーク時の感染患者推計の考え方

- ・第1波において本府より大きな感染拡大を起こした他都市の感染拡大状況を踏まえ推計してはどうか。
- ・その際、社会状況等が異なる海外の大規模感染を想定し推計するのではなく、国内の感染拡大事例を踏まえた推計としてはどうか。

推計の参考とした都道府県：東京都（国内において本府より発生患者数が多い都道府県）

### 推計患者数

- ・重症患者 194人
- ・軽症中等症患者 1,103人（・自宅宿泊療養患者 812人）

## (2) 第2波に備えた必要病床数の考え方

必要病床数については、患者受入に一定の余裕を見るため、病床使用率等を踏まえた推計としてはどうか。

仮定した病床使用率【重症90% 軽症中等症80%（宿泊施設使用率80%）】

必要病床数 1,615床程度【・重症病床 215床程度 ・軽症中等症病床 1,400床程度】

（宿泊療養施設部屋数 1,015部屋程度）

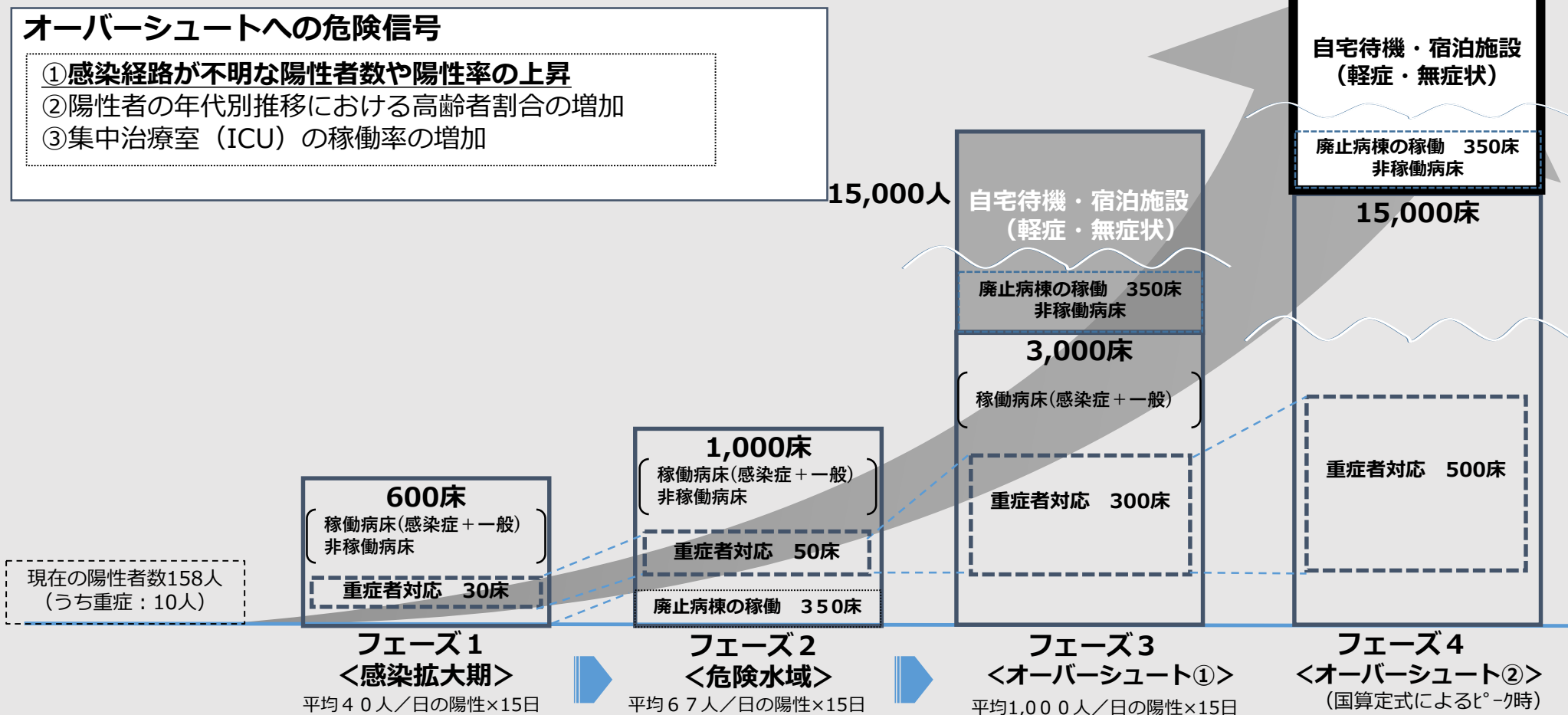
 第10回対策本部会議で示した当面の病床数の整備目標（「フェーズ3」の病床数（3,000床））を上記で推計した必要病床数としてはどうか。

# 新型コロナウイルス感染症のフェーズに応じた保健医療対策（案）

## 病床確保見込

### オーバーシュートへの危険信号

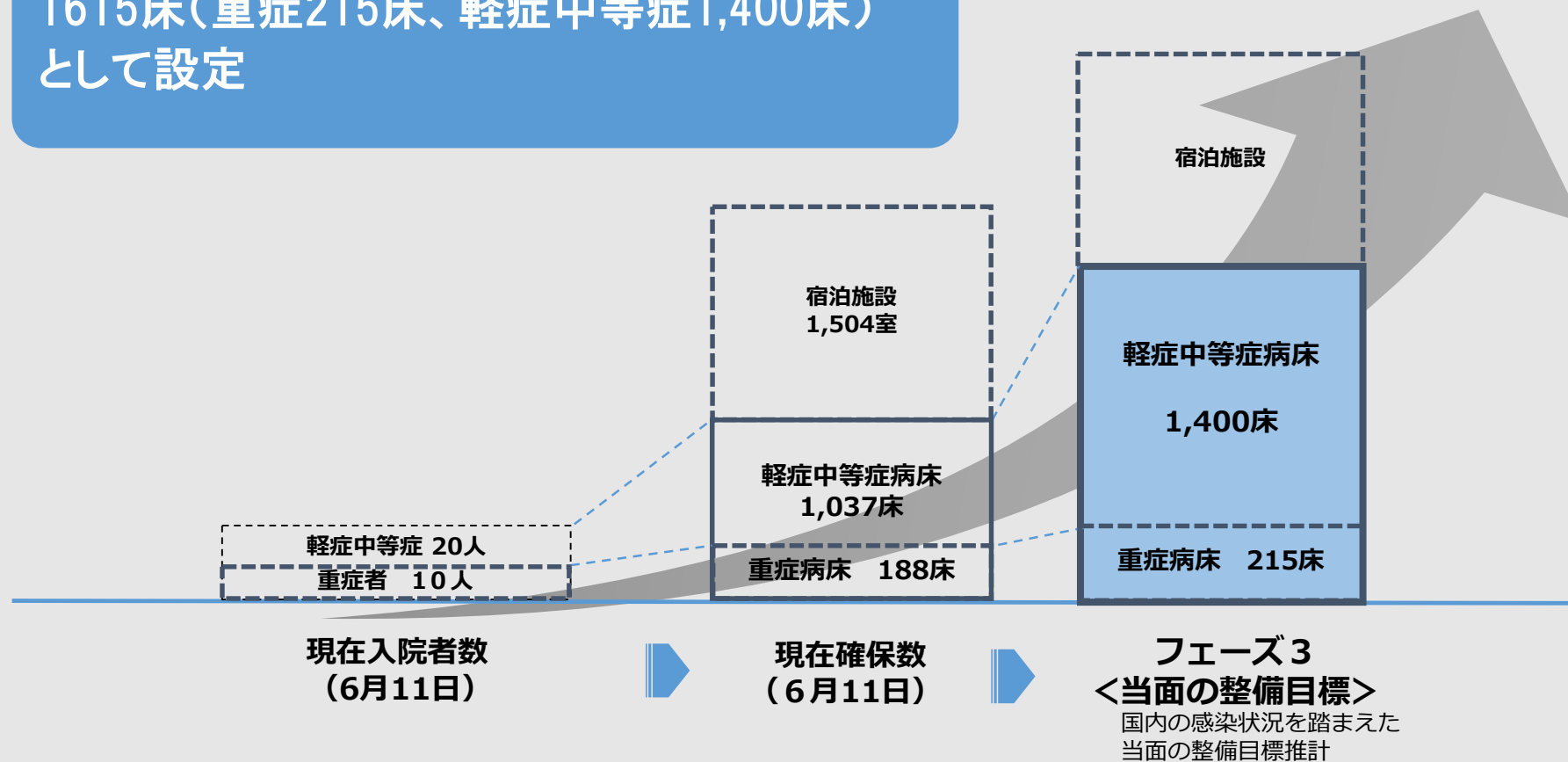
- ① 感染経路が不明な陽性者数や陽性率の上昇
- ② 陽性者の年代別推移における高齢者割合の増加
- ③ 集中治療室（ICU）の稼働率の増加



※フェーズ2（1,000床）までは病床確保の見込み

# 感染拡大第2波に備えた当面の病床整備目標（案）

今回の分析・推計結果を踏まえ、  
「フェーズ3」における当面の病床整備目標を  
1615床（重症215床、軽症中等症1,400床）  
として設定



※をフェーズごとの病床確保については、7月中に策定する予定の「病床確保計画」にて検討